

- 調査票の評価項目については、各臨床研修病院においてより質の高い充実した研修が実施されるよう、医療を取り巻く環境の変化などを踏まえて、毎年設定している。
- 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたこと、また、令和5年10月にJCEP (NPO法人卒後臨床研修評価機構) の評価項目が一部改正されたことを踏まえて、以下のとおり大阪府の臨床研修における調査票の評価項目を変更することとしたい。

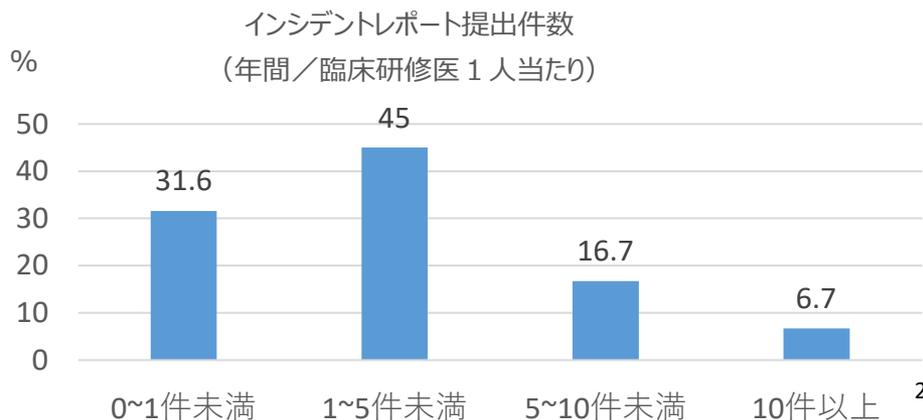


- 「**必須事項**」の「**新型コロナウイルス感染症への対応**」を「**感染症法に基づく「医療措置協定」締結に変更したうえで、「考え方」を「要請に応じて1床以上確保していること」から「協定締結を予定していること」に変更**
- 「**その他**」の「**新型コロナウイルス感染症への対応**」を「**新型コロナウイルス感染症など新興感染症に関する知識の向上に向けた取組み**」に変更したうえで、**1次審査項目から2次審査項目に変更**
- 「**指導体制**」の「**医療安全に関する研修**」の「**考え方**」を「**記載内容を評価 (例：研修医からのインシデントレポートの提出件数 (年間5件/研修医1人あたり))**」※に変更

※令和8年度研修開始分以降については、「考え方」を「研修医からのインシデントレポート提出件数 (年間10件/研修医1人あたり)」に変更したうえで、2次審査項目から1次審査項目に変更

【参考】

JCEPの評価項目では「研修医1人当たり10件 (年間) 以上インシデントレポートを提出」としているが、府内臨床研修病院に対して実態調査を実施したところ、右のような結果であったため、臨床研修1人あたり、年間5件とする。



# 調査票の評価項目案（令和7年度研修開始分）

調査項目	調査内容	考え方	1次 審査	2次 審査
必須事項	過去3年間のマッチング状況	3年間のうち2年以上募集定員を全て採用していること（採用予定者が医師国家試験不合格により採用数が募集定員に満たない場合を除く）【必須】	/	/
	<b>感染症法に基づく「医療措置協定」締結</b>	<b>協定締結を予定していること</b>		
	医師の働き方改革	研修医の勤務実態把握ができていること【必須】		
	病床の再編・統合・転換等	病院の再編統合時における過剰病床への転換を進めていない【必須】		
マッチング	前年度希望順位登録者数	募集定員の3倍以上	○	○
指導体制	指導医数（必須科目及び選択必須科目毎）	産婦人科・小児科・救急科の複数配置	○	○
	一般外来研修内容・日数	記載内容を評価・研修日数が30日以上	○	○
	地域医療の推進に向け工夫・配慮している点	記載内容を評価	○	○
	分娩研修	施設当たり350件又は研修医1人あたり10件以上（実績を示せるものに限る）	○	○
	<b>医療安全に関する研修</b>	<b>記載内容を評価（例：研修医からのインシデントレポートの提出件数（年間5件／研修医1人あたり））</b> ※令和8年度研修開始分以降、「研修医からのインシデントレポート提出件数（年間10件／研修医1人あたり）」に変更したうえで、2次審査項目から1次審査項目に変更予定	○	○
	研修の進捗状況の管理方法	PG-EPOC・研修医手帳と独自の評価方法の組合せ	○	○
評価の方法（評価体制（職種）・方法）	多職種（看護師含む複数）、外部及びその他（患者含む）の評価を実施	○	○	
研修環境	第三者評価（卒後臨床研修評価機構）	卒後臨床研修評価機構の認定	○	○
	その他の臨床研修に係る第三者評価の認定状況	日本医療機能評価機構などの認定	○	○
	卒後臨床研修評価試験の受験	1年次及び2年次の受験	○	○
	学会発表件数（地方会以上）	年1件/人以上	○	○
	CPC研修内容・剖検症例件数	記載内容を評価・年1件/人以上	○	○
自由記載	アピールポイント	記載内容を評価	○	○
その他	<b>新型コロナウイルス感染症など新興感染症に関する知識の向上に向けた取組み</b>	<b>記載内容を評価</b>	○	○
地域偏在	医師不足地域・高齢化率	北河内・中河内・南河内・堺市・泉州の各二次医療圏に所在すること	○	○

# (参考) 令和6年度研修開始分 最終配分調整の評価項目

調査項目	調査内容	考え方	1次 審査	2次 審査
必須事項	過去3年のマッチ状況	2年以上フルマッチしていること (必須)		
	新型コロナウイルス感染症への対応	要請に応じて1床以上確保していること		
	医師の働き方改革	研修医の勤務実態把握ができていていること (必須)		
	病床の再編・統合・転換等	病院の再編統合時における過剰病床への転換を進めていない (必須)		
マッチング	前年度希望順位登録者数	募集定員の3倍以上	○	
指導体制	指導医数 (必須科目及び選択必須科目毎)	小児科・産婦人科・救急部門の複数配置	○	
	一般外来研修内容・日数	記載内容評価・研修日数が30日以上	○	
	地域医療等への誘導に向け工夫・配慮している点	記載内容評価		○
	分娩研修	施設当たり350件又は研修医1人当たり10件以上 (実績を示せるものに限る)	○	
	医療安全に関する研修	記載内容評価		○
	研修の進捗状況の管理方法	EPOC・研修医手帳と独自の評価方法の組合せ	○	
研修環境	評価の方法 (評価体制 (職種)・方法)	多職種 (看護師含む複数)、外部及びその他 (患者含む) の評価を実施	○	
	第三者評価 (卒後臨床研修評価機構)	卒後臨床研修評価機構の認定	○	
	その他の臨床研修に係る第三者評価の認定状況	日本医療機能評価機構などの認定		○
	卒後臨床研修評価試験の受験	1年次及び2年次の受験	○	
	学会発表件数 (地方会以上)	年1件/人以上	○	
自由記載	CPC研修内容・剖検症例件数	記載内容評価・年1件/人以上		○
	アピールポイント	記載内容評価		○
その他	新型コロナウイルス感染症への対応	夜間休日における受入体制を確保していることかつ重症病床7床以上または重症軽症中等症合わせた最大運用病床数が、許可病床数 (一般) の10.2%以上の病床を確保していること	○	
地域偏在	医師不足地域・高齢化率	北河内・中河内・南河内・堺市・泉州	○	